



横須賀・三浦放射線技師会報

Vol. 34-No. 1
JUN. 2010

No. 106

〈発行元〉横須賀・三浦放射線技師会 広報 〈発行元住所〉神奈川県横須賀市米が浜通 1-16



CONTENTS

「平成 21 年度 本会総会開催 服部会長の続投承認される」

Photo by K.Numata

総会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	【投稿】宮村前副会長・・・・・・・・・・	6
新会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	第 106 回研究会 & 三部合同納涼会告示、	
新役員一覧、新役員紹介パート 1 ・・・・・・	4	新入会員紹介、会費納入のお願い・・・・・・	7
新役員紹介パート 1 続き・・・・・・・・・・	5	編集長のページ・・・・・・・・・・	8

平成 21 年度総会において服部会長続投承認される

平成 21 年度本会総会が 3 月 27 日、セントラルホテルに於いて開催され、服部会長の続投が承認されました。服部会長は総会に先立つ役員改選に際し、次期会長職に立候補を表明されており、これが総会で承認されたものであります。

総会の概要

平成 21 年度横須賀三浦放射線技師会総会が平成 22 年 3 月 27 日（土）15 時よりセントラルホテル 5F ルビーに於いて開催されました。出席者は 29 名でした。

会員表彰として本会事業に長年役員として貢献された横須賀共済病院の二田勇先生と三浦市立病院の田中耕作先生のお二方が功労賞を受賞され、神奈川県放射線技師会の窪田宗雄会長からは来賓祝辞を賜りました。



服部会長より表彰を受ける田中耕作氏

理事会指名により議長に就任した衣笠病院の神田真世氏と横須賀共済病院の沼田恭一氏の円滑な進行のもと、平成 21 年度の本会事業活動報告、会計報告が承認されました。



議長に就任された神田氏(衣笠・手前)と沼田氏(横須賀共済・奥)

また役員改選に関しましては、平成 22 年度よりの横須賀市立市民病院の公設民営化に伴い、会員数及び理事役員確保の困難と本会運営の困窮化が予想される状況下、服部会長が会長候補として立候補されたことが、平成 21 年度選挙管理委員であった 横須賀共済病院の坂詰丈太氏と横須賀市立うわまち病院の中村明彦氏より報告があり、総会の承認を経て服部会長にもう一期続投いただくことが決定いたしました。なお、副会長



服部新会長挨拶

以下監査役、理事役員の任命も服部会長に託されました。

平成 22 年度本会事業計画案および予算案も続いて承認

されました。

総会後懇

親会は同ホテル 5F サファイアにて開催され、福利厚生担当理事の進行役で盛会裏に終了いたしました。出席者は 35 名でした。

(濱田)



懇親会乾杯



懇親会抽選会で生方理事



懇親会手締め 狩野氏

服部会長挨拶

巻頭言にかえて



会員、賛助会員の皆様にはご健勝でお過ごしのことと思います。

去る3月27日に開催された平成21年度総会において、再度会長職を拝命し改めて身の引き締まる思いと責任の重さを痛感しております。

すでにご承知のように、この4月から横須賀市立市民病院が公設民営化となり、新体制で稼働することになりましたが、これまでに行ってきた形態を変更することは、勤務する人達にとっても大きな苦悩や苦勞を伴います。

私たちの地域でも確実に医療情勢が変化し、医療を行う側も受ける側も戸惑いを隠せない状況にあり、この流れがどこに向かっているのか、どのような形で収束していくのか、各方面で色々なご意見が出され討論もされていますが、政治の政権交代に伴い混沌としてまだ予想のつかない状況です。

さて、当会は過去において記念事業など、他の地域からも羨望されるような大きな事業を展開してまいりました。この大きな事業の成功の秘訣は、60年の歴史を持つ誇りと集結した力が成せた業であり、あらためて当会の持つ潜在的な底力を感じることが出来ます。

しかし今、めまぐるしく変化する医療情勢に対応するために、どのような姿勢で臨むべきかの判断が問われています。「今は力を使うときにあらず力を蓄えるとき」ある程度の方角を見極めてから動くことが肝要と考えております。

総会でご承認をいただいた平成22年度の事業計画については、前年同様の規模で推移できればと思っていますが、理事の減少は避けられないものとなり、新役員の方々の意向を汲み、出来るだけ負荷のかからない範囲の中で活動ができればと思っています。

継続は力なりと申します。やがて来る百年の大計のために、皆様のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

平成22年4月吉日

服部祐治

🍃 今期理事役員一覧

会員・賛助会員の皆様、よろしくお願いいたします。

会 長	服部祐治(横須賀共済病院分院)
副会長	羽布津嘉宏(横横須賀共済病院)
監査役	二田 勇(自宅) 田中耕策(自宅)
庶 務	濱田順爾(横横須賀共済病院) 菅原保富(横横須賀共済病院) 松村高宏(衣笠病院)
会 計	生方昌宏(横横須賀共済病院) 前川加奈(横横須賀共済病院) 早川智之(横横須賀共済病院)
学 術	兼務) 羽布津嘉宏(横横須賀共済病院) 金子俊広(衣笠病院) 壺川貴子(横横須賀共済病院) 野口奈津希(横横須賀共済病院)
福利厚生	小笠原純(横浜南共済病院) 戸高拓朗(湘南病院) 中村明彦(横須賀市立うわまち病院)
広 報	兼務) 濱田順爾(横横須賀共済病院) 安藤悦夫(逗葉地域医療センター) 久保隆(三浦市立病院)
YMBIT	堀 裕明(横横須賀共済病院)
被ばく医療	大石小太郎(横横須賀共済病院) 井上晴行(横須賀市保健所)
救急医療	児玉康彦(横須賀市立うわまち病院) 大藤和男(横横須賀共済病院) 宮原新吾(横浜南共済病院)
地区委員	高橋宏之(横須賀市保健所)
NASチーム代表	大石小太郎(横横須賀共済病院)
相談役	閑野政則(自宅) 加村鐵郎(自宅) 新倉政和(横須賀クリニック) 千葉 一(エデンの園診療所) 柳澤正和(横須賀市立市民病院)

以上 30 名(兼務理事含む、相談役 5 名)

🍃 役員・理事紹介 part 1

今号から次号に渡って今期役員・理事の紹介を致します。今回は副会長、監査役、庶務、会計、広報です。次号 part 2 もお楽しみに。



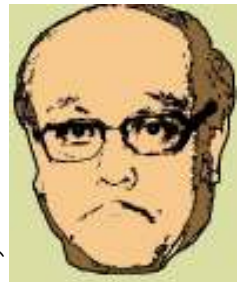
副会長 & 学術：羽布津嘉宏（横共）

今回、理事の人数がかなり少なくなり副会長と学術を、兼務することとなりました。

少ない人数ですが、会員・賛助会員の皆様にはご迷惑をかけず活動したいと思っておりますので、ご協力のほどお願いします。

監査役：二田 勇

会計監査役の二田です。3月末で定年退職しました。技師会には、40周年、50周年、60周年と微力では有りましたが技師会の活動を盛り上げ、協力させていただきました。会議等の出席も、現役時とは違い、毎回の出席とはいかず、欠席の無礼を働くとは思いますがよろしくお願いします。また、技師会の協力は惜しみませんので連絡のほどよろしくお願いします。



監査役：田中耕策

田中です。フルネームは田中耕策。田んぼの中を耕すのみならず、策を練ります。監査を務めております。B型のうお座、どうぞよろしく。

庶務 & 広報：濱田順爾（横共）

横須賀共済病院の濱田です。今期は庶務と広報の兼務で本会運営に携わります。効率的、かつコンパクトな技師会の事業展開を目論見、実は私、やる気満々です！モットーは「世の為人の為」。「友愛」とは違います。よろしくお願い申し上げます。



庶務：菅原保富（横共）

前期から引き続き今期も庶務を担当させていただきます横須賀共済病院の菅原といいます。今期もひきつづき

「がんばって」

やっていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

庶務：松村高宏（衣笠）

今年も濱田さん、菅原さんと僕の3人で庶務をやらせていただきます。考えてみると、かれこれ14年ぐらい理事を歴任させていただいております。長くやってはおりますが、初心を忘れずに、濱田さん菅原さんの足を引っ張らないよう頑張っていきたいと思っております。

又、今期は、理事が少なくなっておりますので、他の理事達とも協力して各行事を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



庶務報告 (2010. 3. 15~6. 11)

会計：生方昌宏（横共）

拝啓 候、さて、ああたらかうたら申し上げます。

つきましては、会計一同技師会の発展に努力してまいりますので、ご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、趣味の釣りで修行の旅に出て居りますが、放浪の旅に憧れる今日此の頃のオヤジでやんす！乱文お許しください。 敬具



会計：前川加奈（横共）

前年度に引続き会計を担当することになりました横須賀共済の前川です。会計の仕事にもようやく慣れてまいりました。ご迷惑をかけないよう頑張ります。よろしくお願いします。



会計：早川智之（横共）

まだまだ本技師会歴も浅く未熟な私ですが、本年度会計理事という大役を仰せつかり、身が引き締まる思いでいっぱいです。微力ではありますが、諸先輩方のアドバイスの下、責務を果たしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



広報：安藤悦夫（逗葉地域医療センター）

引き続き広報を担当することになりました、逗葉地域医療センターの安藤です。

広報では、技師会の活動報告やお知らせはもちろんのこと、会員のみなさんの趣味の紹介や旅行記なども掲載したいと思っています。堅すぎず、やわらかすぎず、

読みやすい紙面をめざしてがんばります。

広報：久保隆（三浦市立）

地域医療の為に放射線科として何をするべきか？模索中のこの頃です。

放射線技師と言って、仕事の内容を分かる一般の人は少ないですネ。それも広報の仕事かな？、と思っています。

よろしくお願いします。



残りの理事の紹介は次号へ続きます。お楽しみに。

3/15・平成22年度横須賀市救急医療センターへの本会技師派遣依頼状を郵送（南共済）

3/20・平成22年度横須賀市救急医療センターへの本会技師派遣依頼への承認状受理（南共済）

3/27・平成21年度本会総会および総会懇親会を開催（セントラルホルビー&サファイア）総会29名、懇親会35名

3/31・会員小野拓次郎氏、高久博樹氏退会

4/1・横須賀市医師会と救急医療センター業務委託契約を締結

4/12・第1回三役会開催の案内をメール配信

4/14・平成21年度総会会場費をセントラルホテルに支払い

・第1回三役会開催の案内、第1回理事会開催の案内をWEB配信

4/15・三浦市立病院久保隆氏が入会（原簿受理）

・平成22年度第1回三役会を衣笠病院2階講堂に於いて開催

4/22・平成22年度第1回理事会を衣笠病院2階講堂に於いて開催

・規約により会員高松正雄氏（歯科大）、賛助会員田辺三菱製薬株式会社を退会

・うわまち病院加藤尊志氏、藤川みずき氏が退会（3月31日付けで退会とする）

・うわまち病院、原田成浩氏、中野智仁氏、島田尚子氏の3名が入会

4/26・宮村氏へ旧市民病院から市役所へ異動になった会員の本会残留意思確認を要請

・神奈川みなみ医療生協へセンター技師派遣依頼状を送付

・パシフィックホスピタル男鹿氏へ緊急連絡網参加へのお願いを送付

・理事委嘱依頼状を横須賀市保健所・横浜南共済病院、湘南病院へ送付

・委嘱状を第1回理事会資料とともに送付（二田監査役、湘南病院戸高理事、保健所高橋理事・井上理事）

4/27・旧市民病院の中島伸一郎氏、小林誠氏、海老沼隆氏、三條雅史氏、今泉信氏、小林志緒氏、畠山徹氏、池田のり子氏、桂嶽亮氏、小田嶋由美子氏、丸山智哉氏、森博氏を平成22年3月31日付け退会とする

5/14・うわまち病院より、原田成浩氏、中野智仁氏、島田尚子氏、3名の入会原簿受理

5/15・らせんCT研究会

・横須賀三浦MRI技術研究会

5/21・第1回神奈川県放射線技師会地域連絡協議会に高橋地区委員が出席

5/22・横浜南部技師会総会懇親会に羽布津副会長、二田監査役、千葉相談役、松村理事の4名が参加

5/31・横須賀共済病院森美由紀氏が入会（原簿受理）

6/6・賛助会員ラドセーフ株式会社退会

6/11・県技師会拡大役員会へ服部会長、高橋地区委員担当理事が出席

<会員数138名(名誉会員3名含む)、賛助会員21社>

横須賀三浦放射線技師会 会員の皆様へ (市民病院から市へ異動して)

健康福祉部地域医療推進課
前副会長 宮村聖也



新緑の候、会員皆様には、ますます御健勝のことと存じ上げます。

さて、私が横須賀市立市民病院から市へ異動して2カ月が経ちます。

「技術職」としての異動のはずが、覚悟はしていたとはいえ仕事としては事務業務が中心で、新米同然のあり様で四苦八苦している最中であります。そんななか広報からの原稿依頼が来て、快諾はしたものの原稿の内容には迷った次第です。

市民病院に於ける民営化は「過去の出来事」になってしまったといった思いがあります。しかし、今回の経営形態の見直しで市民の技師の多くが市に移ると同時に会から離れ、技師会に不安や負担をかけた結果となっていました。今までにも市民病院の民営化問題については、機会あるごとに三役会や総会時に説明を行ってきた経過がありますが、会報等での記事として載ったことはなかったと思います。これまでの経過を簡単ですが説明をさせていただきます。

全国の自治体病院の8割が赤字の中で、横須賀市立市民病院も多くの累積赤字を抱えている状況下で経営形態の見直し論が以前から話題となっていました。現実にかかるのはもう少し先ではないかと多くの職員は感じていました。

しかし、突然の如くその時期が訪れました。病院職員は全員解雇となり新しく「うわまち病院」と同じ経営組織である公益法人地域医療振興協会の職員として出直す。と言うことでした。ところが、途中で市の職員として異動希望者は市が受け入れるということになり、約8割の放射線技師が市への異動を希望し市に移り現在に至った訳です。

「病院を選択した人、市を選択した人」それぞれ悩み考え抜いてのことでした。

私自身も市への異動を希望し放射線技師の業務から離れましたが、これまで技師会を通して知りあった多くの方々との縁は切り難く、技師会の脱会を考えていませでした。そのせいか副会長の慰留を依頼されましたが、直接医療現場に関わらない技師でもあり、業務上技師会の役員では今後不都合なことも予想されましたので辞意の意思を申し上げた次第です。また、横三浦放射線技師会には多くの逸材が存在しており、私としては何ら不安を感じていません。これも辞意の大きな理由の一つです。これまで通りに横三技師会は県技師会の中心的役割を果たして行くことには変わりないと思っておりますし、そのエネルギーをもった組織だと思っています。脱会した市民病院の影響が一時的にはあるかも知れませんが、長い目で見れば必ず元の状態以上に団結力のある組織に生まれ変われると信じています。頑張ってくださいと思っています。私も会員の一人として微力ながら応援をしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたしますと思います。

話題は変わりますが、近況報告という訳ではありませんが、5月8日(土)にかながわ看護フェスティバルが横浜ランドマークのクイーンズスクウェアで開催されました。

神奈川県看護協会が主催し各自治体から1名程参加協力するということで私も横須賀市から応援職員として参加しました。血圧測定、脳年齢測定、血管年齢、CO₂測定など色々な検査コーナーや健康相談コーナー、進学相談コーナーが設置されバンド演奏もありました。

そんな中風貌に見覚えのある紳士がいるではありませんか。洒落たブルーのシャツに白のパンツ。そしてキャップを被った姿。背はチョト低いものの、マサカとは思いましたが閑野先生でした。いつものスタイルとは違ったのでビックリして「閑野先生」と声を掛けたと先生もビックリした様子。先生もどうですか？と勤めると「ワシャもう全部終わったところや！」「ワシャ何でも一番がモットーや！」「タバコは一日3箱吸ッတာが一日でキッパリ止めた」と。(横三会報にも先生の禁煙の記事が載りましたが)さすが。「これからどちらへ？」と声をかけると「モトマチや！」と明るく元気よく。何時もの調子で。「一人で？」「そうそう！」？チョト疑ってしまいましたが一人的様でした。

我が技師会の大先輩の充実した？生き様を見て羨ましく思ったと同時に自分もこうありたいと思った次第でした。

第 106 回研究会のご案内

まもなく梅雨を迎える季節となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。毎年恒例の横須賀三浦放射線技師会研究会を下記の通り開催いたします。今年度より理事が変わり新しい風を吹き込んでいけたらと思っております。新たなメンバーでの初仕事となりますので多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時 2010年07月17日(土)
15:00~17:30
会 場 横須賀共済病院 5F 講堂

演 題

第1部 デジタルマンモグラフィ CAD について

1. 『CAD の現状と今後の展望』
GE ヘルスケア 東尾 良介氏
2. 『乳がんの早期発見と検出率の向上に寄与するデジタルマンモグラフィ CAD』
富士フイルムメディカル 堀口 真太郎氏
3. 『演題名未定』
コニカ 演者未定

第2部 教育講演

『ワークステーションでの4次元解析』
アミン株式会社 田中 大輔氏

*プログラムはやむを得ぬ事情で変更されることがあります。最新のプログラムは本会ホームページをご確認ください。

*問い合わせ先 横須賀三浦放射線技師会
横須賀共済病院 中央放射線科
046-822-2710(代表)
学術担当 壺川貴子

三部合同納涼会のご案内

福利厚生も新メンバーでの初仕事です。研究会終了後の開催です。開催詳細は下記の通りです。

会場:『海鮮居酒屋 はなの舞』横須賀中央店
時間:18:10~20:10
会費:3000 円

*参加申込が必要です。申込締切:7月3日(土)

*申し込み方法

- ①事務局へメール (ymart001@ymart.jp)
- ②以下福利厚生理事へ連絡

小笠原(横浜南共済病院放射線科) 045-782-2101(代)
戸高(湘南病院放射線科) 046-865-4105(代)
中村(横須賀市立うわまち病院放射線科) 046-823-9562

新入会員のご紹介

横須賀共済病院 森 美由紀 (ミナミ)



初めまして。横須賀共済病院の診療放射線技師、森美由紀です。出身は横浜です。趣味は、ピアノを弾くことと、歌

うことです。やっと憧れの診療放射線技師になれたので、これからたくさんの知識と技術を身につけて、少しでも早く一人前の技師になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

今後の主要行事日程

- | | |
|--------|------------|
| 7月15日 | 三役会(横須賀共済) |
| 29日 | 理事会(横須賀共済) |
| 8月6日 | NASチーム納涼会 |
| 26日 | 救急センター連絡会議 |
| 10月14日 | 三役会(横須賀共済) |
| 28日 | 理事会(横須賀共済) |
| 11月16日 | 第106回研究会 |
| 25日 | 救急センター連絡会議 |
| 27日 | スクリーニング講習会 |

会費納入のお願い(会計担当)

拝啓 向夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝の事と存じます。平素より当会への活動にご助力いただきましてまことに有難うございます。

つきましては、今年度も本会の主旨にご賛同いただきまして、会費・賛助会費の納入をお願い申し上げます。

下記銀行口座にお振込みいただくか、直接会計担当者まで納入いただきますようお願い申し上げます。

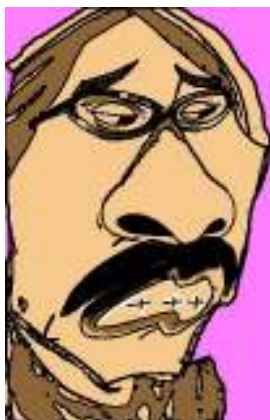
なお、銀行振り込みの場合は振込後事務局までご一報くだされば幸いです。また、請求書がご入り用の場合は、お手数ですが会計担当まで御連絡ください。

敬具

横浜銀行 衣笠支店
普通 1364750
口座名義 横須賀三浦放射線技師会

編集長のページ

紙面刷新について



今回、第106号編集長を買って出た(!?)濱田でございます。今号は、まず第一に「広報誌」ではなく「広報紙」をイメージし、さらにいろいろな労力を抑えることに徹した紙面を作ったつもりです。紙面刷新と自負しておりますが、いかがでしたでしょうか。

もちろん、今後は会員・賛助会員の方々のご意見やご感想をお聞きしながら改良していくつもりです。

さて、この「編集長のページ」って、いったい何なんだ！とお怒りの方もいらっしゃるかもしれませんが、紙面刷新とともに、実はこれがやりたかったのです。編集後記のようなものです。

過去も広報担当理事の方々は、おそらく原稿依頼やその締め切り、その他もろもろの事で大変苦労されていたことであろうと思っております。広報誌を発行するにも原稿が届かない、なんてこともあったでしょう。

それならば編集長の特権で、自分で1ページ作ってしまったらいんじゃないか。それがこの発想の原点です。その時その時の、それこそ日常の思いとか、広報担当のいろんなものをちょこっとずつ、みなさんにご紹介したいと思えます。

プラス思考

今年、私もついに50歳になってしまいました。いろいろな人との出会いがあって、今の私があると思ひ、感謝しております。

実は前頁の自己紹介では書き足りなかったもので、ここで書き足しちゃうと思ひます。

私に近いところに居る人なら、大体分かると思ひますが、私は超プラス思考の人間です。多少の事ではめげません。嫌な事件があっても、「この程度で済んでよかった」と常に考え、100%前向きに自身に受け取れるように努力しています。

プラス思考で居続ける為に私が常に心がけていること。①ため息をつかない。周りの人に不快感を与えます。癖になっている人、いませんか？②マイナス思考の言葉は絶対口にしない。当直時にアンギオがあつたらやだなあ〜、と言ったとたんにその通り、なんて事、ありませんか？人の発する言葉は言霊（ことだま）といって、不思議な力があるんですよ。引き寄せの法則とも言います。③マイナス思考の人の傍に寄らない。傍にいただけで不快になるし、私にはどうしてもネガティブないろんなものをうつされるような気がしてなりません。④無理やりでもいい事を想像する。例えば、仕事が忙しくて結構つらい時期でも、この試練を乗り越えられる俺だから神様はこの試練を与えてくれているんだ、くらいに考えます。大丈夫、俺なら乗り越えられる！

努力すればなんとか出来ることです。あなたもプラス思考人間になってみませんか？

加齢臭

あと、もう一つ。昨年4月、横須賀共済病院分院(旧横須賀北部共済病院)から本院に異動になりました。たった1年ちょいで既に大きな顔をしておりますが、最初は、驚くほどたくさんの女性がバリバリ働く施設で、かなり圧倒されました。職員も千人くらい居れば当たり前ですけどね。

その中で、やはりおじさんとしては仲間に嫌われないように、清潔感を失わないように、努力が必要だと思います。あまりプンプン匂わない程度のコロンの朝の一吹きくらいは、エチケットとして、やっておきたいものです。

私なんぞは、ポータブル撮影に出ると、始めて数分で汗だくになります。汗っかきなんです。ビチヨビチヨになった術衣は後で着替えないと、皆に迷惑かけますよね。腋シューも忘れずに。拳句の果てに加齢臭なんて思われたら自分としても許せないですもんね。

では、みなさん。次号は安藤編集長です。

<濱田>